

2026年11月 市薬研修案内

会 員 各 位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

☆研修会は事前申込み制です。詳細については、個別の案内状をご確認ください。

◇開 催 場 所：

福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演 題 ・ 講 師 など
11 月 12 日 (木) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《 東大・薬剤師会育薬セミナー 》 【ヒヤリ・ハッと・ホッと】 ▶ エドキサバンとアミオダロンの相互作用をチェック 【薬局プレアボイド・インシデント事例 徹底解析トレーニング】 ▶ 小児へのシメチジン錠粉碎指示で苦みへの対処を講じなかった ～小児への粉薬処方では苦みなどへの官能について注視する必要がある～ 【症例から学ぼう副作用】 ▶ 気にしておきたい副作用 - 抗パーキンソン病薬 ② 【医薬品適正使用・育薬のホットな情報】 ▶ ビタミンDを補充しても高齢者の骨折は減らない？ 【ニュードラッグインフォメーション】 ▶ 免疫性血小板減少症とブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬 ：新薬の医薬品情報のポイント ウェイリズ錠 400 mg <リルザブルチニブ> 【クローズアップDI】 (育薬学講座教員による薬学的管理への活かし方など徹底解説) ▶ ナルコレプシーとオレキシン 2 受容体選択的作動薬 ：効果・動態・適正使用のポイント オーゼイフル錠 0.5 mg・1 mg・2 mg <オベポレクストン> 講 師：東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座 澤田 康文 先生／佐藤 宏樹 先生／三木 晶子 先生
11 月 19 日 (木) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《 あらゆる領域に強くなろうシリーズ 》 【講演】 演題：「あらゆる世代が付き合う眼疾患」 ～学童近視からアイフレール・失明するような眼疾患まで～ 演者：JCHO 九州病院 副院長 藤澤 公彦 先生 【要旨】2026 年 9 月の総務省統計で、高齢者（65 歳以上）の割合は 29.6%で、世界主要国の中で最高水準を更新しています。このような超高齢化社会で、健康的に暮らせることは極めて重要な課題です。近年、眼疾患状態と健康状態の間をアイフレールと呼び、視力の健全性が認知症や転倒などの外傷の発症と関係が深いことが指摘されています。新規に認定される視覚障害者の 7 割が 60 歳以上であることから、加齢による視覚障害の増加とフレイル状態の高齢者が益々増えることが予想されます。 今回の講演では 5 大失明原因の疾患を含めて、避けて通れない老視（老眼）についても話題提供します。 また、若年者に急増している近視の治療に関するお話や、近年使用の頻度が増しつつあるバイオ製剤についても触れたいと思います。

開催日	研修会名	演 題 ・ 講 師 など
11 月 24 日 (火) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	歯科口腔保健の 推進に関わる 研修会	【講演】 演題：「歯科疾患と全身の健康」 演者：福岡市歯科医師会 常務理事 牧野 正敬 先生 【内容】近年歯科疾患が原因である全身疾患があることが広く周知されてきており、オーラルフレイルだけでなく、疾病予防にも口腔衛生が重要であると言われている。今回は健康と歯科疾患の関係を解説し、薬剤師が早期に気づき、歯科への受診勧奨へつなげることができるよう、具体的なアクションなどを交え講演予定。また、オーラルフレイルについても最新の話題を交え講演予定。
11 月 26 日 (木) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《 東大・薬剤師会育薬セミナー 》 ※詳細が分かり次第、配信・HP 等でお知らせします。
11 月 30 日 (月) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《 あらゆる領域に強くなろうシリーズ 》 【特別講演】 演題：「CGM・AID 時代、薬局だからできる糖尿病支援 ～ 血糖・薬・デバイス・皮膚を地域で支える ～」 演者：医療法人 南昌江内科クリニック 一般社団法人 南糖尿病臨床研究センター センター長 前田 泰孝 先生 【要旨】糖尿病診療は、薬物療法の進歩に加え、持続血糖測定（CGM）による血糖の可視化やインスリン注入自動制御機能付きインスリンポンプ（AID）の普及により大きく変化している。 本講演では、CGM の基本的な見方や AID 時代のインスリン治療を概説し、薬局での声かけやフォローアップにどう活かすかを考える。また、GLP-1/GIP 受容体作動薬や SGLT2 阻害薬使用時の観察点、CGM・ポンプ装着に伴う皮膚トラブルへの支援、トレーシングレポート（服薬情報提供書）を通じた医薬連携についても紹介し、地域全体で患者の治療継続を支える薬局薬剤師の役割を考えたい。

※各研修会のお申込み及び受講研修単位については、個別に配信しておりますご案内状にてご確認ください。

※受講料：福岡市薬剤師会 A 会員・B 会員・薬学生は無料。

宗像・粕屋・筑紫・糸島薬剤師会 A 会員・B 会員は 1 人 1,000 円の負担をお願いします。

それ以外の方（非会員を含む）は、1 人 3,000 円の負担をお願いします。

※この研修会は氏名及び薬剤師免許番号を含む受講者名簿を「公益財団法人日本薬剤師研修センター」に報告させていただきます。また、氏名及び勤務先名を含む受講者名簿を共催団体へ提供する場合もございます。ご了承の上、お申込みください。

※研修単位は、申請状況・受講状況によっては単位が認められない場合もございます。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

【お知らせ】

東大・育薬セミナーの会場受講にて交付しております「DLM センター発行 育薬セミナー単位」について
医薬品ライフタイムマネジメントセンターの DLM 認定薬剤師制度の改変に伴い、

1.25 単位（120 分）から 1 単位（90 分）へ変更となりました。

DLM 認定薬剤師制度の詳細については、「NPO 法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター」の
ホームページをご確認いただくか、お問合せ先にメール送信にてお尋ねください。

《NPO 法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター》

ホームページ：<https://www.dlmc.jp/> お問合せ先：DLM センター事務局（office-070401@dlmc.jp）